

2025年度活動報告書



みんな
で育
てる



学
びの
根っ
こを



MESSAGE

代表あいさつ

令和7年度もまた、激動の1年となりました。日本初の女性総理の誕生。長引くウクライナ侵略はいまだ収束の気配はなく、中東・台湾など不安定な世界情勢はまだまだ続きそうな気配を見せています。

また、すくさぽが近年取り組みを強化している「不登校問題」では、35万人を超える小中学生が学びの機会を失っているとの調査結果が出ています。急速に進む人口減少の中、子ども達ひとりひとりが希望を持って生きられる社会を示すことが、私たち大人の責任なのではないでしょうか。

今年度から正式運用が始まった、清水町教育支援センター「すくサポート清水」では週1回の開催ながら、オンライン学習と地域の方のサポートを組み合わせた「ハイブリッド型の教育支援センター」の形を作っています。さらに、「大学生不登校サポートネット北海道」という教員志望の学生のサポートネットワークを構築し、教員志望の学生の経験値を高めながら、不登校支援の輪を広げるとい、前例の無い取り組みを進め新たな価値を生み出して来ました。

この形を全道へ、そして全国の遠隔地域に住む子ども達へ学習機会を提供することで、誰一人取りこぼす事のない社会を実現できると考えています。すくさぽの想いに共感し、応援して下さる皆さまとともに、今後もこの取り組みを進めてまいります。引き続き応援の程、どうぞよろしくお願い致します。

特定非営利活動法人 地域子育てネットすくさぽ 大澤 浩介



書籍は(株)ベネッセコーポレーション様からの寄贈です

地域子育てネットすくさぽのあゆみ

- 2014年 帯広市立柏小学校内にて学習支援「柏っ子教室」スタート
- 2017年 活動場所を帯広東コミセンに移転し、高校生を指導に加える
- 2020年 オンライン学習支援・収穫祭などの地域交流事業スタート
※活動場所を「市民活動プラザ六中」に移転
- 2021年 NPO法人格を取得「特定非営利活動法人 地域子育てネットすくさぽ」となる
- 2022年 十勝子どもの居場所・学びネットワーク協議会『輪〜む』を設立
放課後等デイサービス事業「みんなの居場所ひので」を開設
- 2023年 帯広市教育委員会 オンライン不登校支援事業「ひろびろチョイス」の事業委託を受ける
十勝放課後等デイサービスネットワーク(TDN)を設立
- 2024年 すくサポート事業スタート(帯広・清水)
- 2025年 清水町教育支援センター「すくサポート清水」正式スタート
大学生不登校サポートネット北海道 説明会in釧路 開催

すくさぽについて



ロゴに込めた想い

ここで育った子ども達が将来、誰かを照らす太陽のような存在になってくれる希望を込めました。植物のような形は発芽と成長を表しています。文字の茶色は人が育つ大地をイメージした色。日本の食料基地であり、おいしい作物を育む十勝の肥沃な大地にもその様子を重ねています。英語のルビの両脇には知識をイメージした本を配置し、学びへのサポートを表現しています。

一般社団法人 NORTH Re DESIGN 代表理事 福島 智大

すくさぽの事業

- **地域交流事業**
 - ・すくさぽ学習支援 (P9)・すくさぽ収穫祭 (P9.10)
 - ・すくさぽ感謝式 (P10)
- **不登校支援事業**
 - ・すくサポート帯広(ひろびろチョイス) (P5)
 - ・すくサポート清水 (P6)
 - ・大学生不登校サポートネット北海道 (P3.4)
- **発達支援事業**
 - ・放課後等デイサービスみんなの居場所ひので (P8)
 - ・十勝放課後等デイサービスネットワーク (TDN) (P7)

VISION 目指す社会

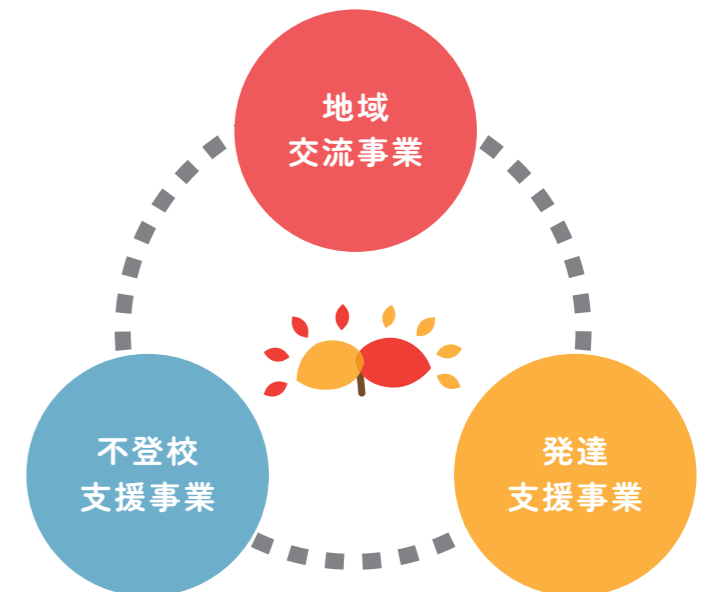
子どもの学びを囲む、 多世代交流がある地域社会

近年、日本では少子化に歯止めがかからない状況になっています。民間試算によると2025年の日本の出生数は64万人台と急激な勢いで減少しています。近い将来、今ある地域の形は維持できなくなる事は間違いありません。すくさぽの活動は、下は小学生から上は80歳代後半の方も参加してくれています。私たちの思い描く地域社会の未来は、子ども達を真ん中に置いた、様々な人達が集える温かい地域社会です。

MISSION すくさぽがなすべきこと

すべての子ども達に 学びの機会を拡げます

同じ日本に暮らしている子たちでも、学びの機会には人によって全く異なります。経済的事情や不登校により学びの機会を制限されているケースはもちろん、住んでいる地域で社会的資源に差があり学びの機会が少なくなることもあります。すくさぽでは地域の方の協力を頂きながら無料で参加できる「対面学習」の場づくりや、「すくさぽオンライン」で不登校の子達が、学校の空き教室や近隣の公共施設(場合によっては自宅)でも学べる環境を拡げています。



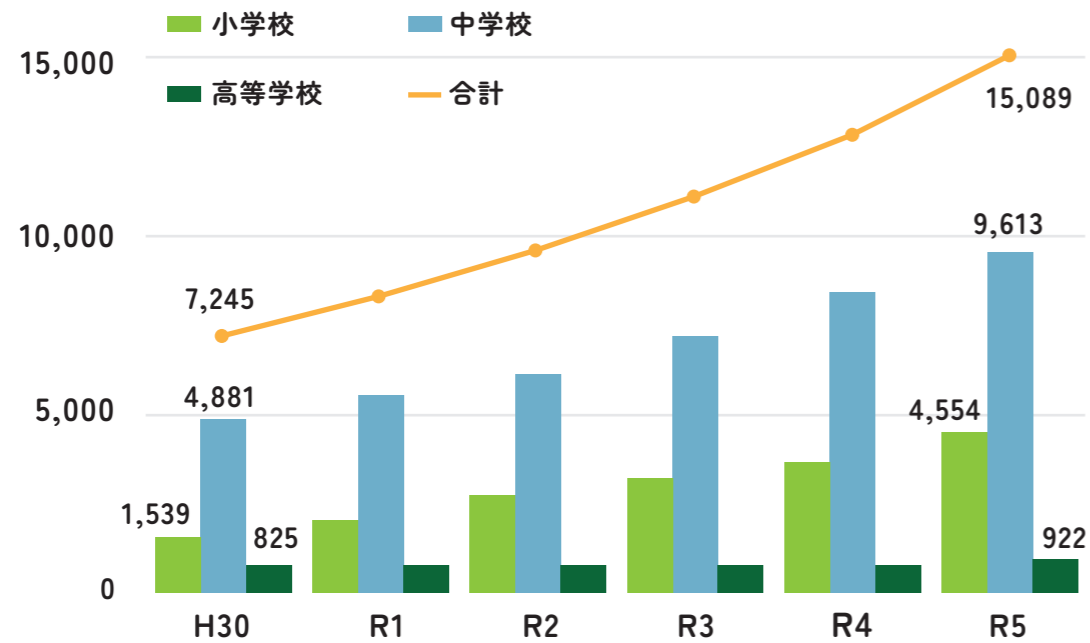
大学生不登校サポートネット 北海道説明会 In 釧路圏①

大学生不登校サポートネット北海道 説明会

私たちはオンライン学習を通じて不登校支援を進める中で、広い北海道の都市部から離れた地域の子も達からのニーズが拡大して行くのを感じていました。また、人口減少によって厳しい財政状況の自治体も多くあります。この状況下で不登校支援に使える資金は決して潤沢ではありません。

そこで、「経験」という価値で支援の輪を拡げて行こうという新たな試みが「大学生不登校サポートネット北海道」です。教職課程をとっている大学生が支援の輪にボランティアスタッフとして加わる事で、人件費を圧縮できるとともに、教育現場に立つ前に様々な経験を提供します。教える側も、教わる側もお互いに学ぶ。このネットワーク構築は、こんなwinwinの環境をつくる画期的な取り組みなのです。

本道の不登校児童生徒数の推移（公立学校）



北海道教育委員会資料より

大学生不登校サポートネット 北海道説明会 In 釧路圏②



不登校をサポートする大学生人材ネットワークの説明会を2025年8月10日（日）に釧路で開催しました。場所はフィッシャーマンズワーフMOOにある、「港まちベース946BANYA」。元々飲食店だったこの場所はバーカウンターや、窓からは海も眺められるオシャレなスペース。教員志望の学生や教育関係者などが集まり、アットホームな雰囲気の説明会が開催されました。事業説明のほか、清水町教育委員会の取り組みや、釧路市の不登校支援の状況などの説明がありました。終了後も参加者同士和やかに交流を深める様子が見られました。



参加者の声



ラポールくしろ 代表理事 幸村 仁さん

私たちは学校と地域、企業のニーズをマッチングさせ、コーディネートしています。今の子どもたちの未来のためには学校の教育だけでは足りません。10代に投資し、学生を地域で学ばせることが必要だと考えます。この取り組みが全道に広がってほしいと思っています。



こども秘密基地 BASE 代表 鈴木 望さん

南十勝の小中高生らの「居場所作り」を行っています。今は保護者の方たちから学習支援が求められています。ニーズに応じていけるようにさまざまな方法を模索していきたいと思っています。



釧路市教育委員会 学びの多様化学校開校準備係 川中 功一さん

不登校対策は地域での取り組みが必要です。教室での授業だけでなく、さまざまな体験を通して自分らしく成長し、よりよく生きることが出来る力を育みたいと考えています。



すくさほ 学生理事 舟山 烈平さん

今は教職課程を履修しています。教育は理論と現実の違いがあります。経験を通じてより広い視点を持てるよう、学生とのかけはしとして、ネットワークをつくり、学生にわたしたちの取り組みを知ってもらいたいと思います。

01

私たちの取り組み

帯広市「ひろびろチョイス」・ 「すくサポート帯広」

「ひろびろチョイス」は令和5年から帯広市で始まった、オンライン不登校支援のシステムです。生徒はオンライン上で登校し、すくさぼの学習支援を受けたりする事も出来ます。先生は十勝管外からも参加（大阪や茨城など）しているので、お互いの環境についてお話するだけでも盛り上がります。また、「将来は学校の先生になりたい!」という大学生も勉強を教えてください（要研修）。年の近い先生たちは、今後、小中学生の伴走役（メンター）としても活躍してもらう予定です。



～ひろびろチョイスの空間～

VOICE



オンライン講師
大阪府在住
上田 菜美さん

子どもたちの「わかった!」「できた!」の声を励みに、学ぶことが楽しくなる授業を心がけています。モットーは「笑う門には福来る」です。授業中の何気ない会話に耳を傾け、共感したり笑ったりする時間を毎週楽しみにしています。子供たちに寄り添い同じ目線であることを大切に、気持ち前向きになれるよう、安心して挑戦できる環境づくりに努めています。



帯広市教育委員会
横山 理恵さん

オンライン学習支援や伴走支援をはじめ、多様な学びの機会を提供していただき、心より感謝申し上げます。皆様のご協力のもと、子どもたちは自分で学びを選び、仲間や社会とつながり、未来に向かってワクワクできるような活動を通して自分のペースで学びながら、社会的な自立に向けての一步を踏み出しています。今後も、地域の大人たちと力を合わせ、子どもたちの健やかな成長を支える取組として、ひろびろチョイスの活動を一層充実させてまいります。

今年度は「空気砲」「塩のふしぎ」を実施しました。私たちの活動は子どもの「主体的で体験的な学び」を重視しており、子どもが自分なりの考えで取り組むことができるよう、すくさぼスタッフの皆さんと一緒に子どもたちをサポートし、導きます。大人の考えを押し付けず、子どもが考えるのを待ち、子どもの考えを否定せずに受け入れる、そうすることで子どもも積極的に取り組めるようになっていきます。



教育支援協会北海道
内山 晶子さん

成功・失敗に関わらず、「自分で考えてやってみる」というプロセスを経験することでしか得られない喜びや悔しさ、感動や疑問や納得感、これらを感じることが「体験的な学び」であり、成長著しい子ども時代にこそ必要です。子どもに学びの場を提供するすくさぼさんのこの活動はとても意義のあるもので、来年、再来年と続いていくことを願います。



～理科実験教室～

02

私たちの取り組み

清水町教育支援センター 「すくサポート清水」

令和5年に文部科学省から出された不登校支援の方向性であるCOCOLOプラン。人口減少の影響を受けている北海道内の遠隔地域では、「教育支援センター」の設置がなかなか進んでいないのが現状です。そんな中、昨年仮開設した「すくサポート清水」は今年度、正式に清水町教育支援センターとなりました。授業の配信はオンラインで全道、全国の先生と繋がっています。また、リアルでは「理科実験教室」「音楽教室」に加えて、「調理実習教室」も実施し、体験も重視するセンターとして内容が充実してきました。このハイブリッド型の教育支援センターの形をモデルケースとして、全道・全国へと拡げて行きたいと思えます。



調理実習で作りました! /



当日は、二人一組のチームになり、野菜を切ったり、味噌玉を丸めたりしながら、協力して調理を進めました。卵焼きを焦がしてしまい、「もう一回焼きたい」と挑戦する子や、片付けの順番をじゃんけんで決める年の離れた二人組、微笑ましい場面が沢山ありました。完成後は、みんなで食べながら「卵焼き、味見してもいい?」「にんじんがおいしい!」と会話も弾み、笑顔あふれる時間となりました。

VOICE



ピオラ奏者
エッシー 朋子さん

〈経歴〉
・ピオラ奏者。武蔵野音楽大学器楽学科ピオラ専攻卒業。
〈資格〉
・日本弦楽指導者協会会員
・リトミック研究センター認定講師
・児童発達支援士
・発達障害コミュニケーションサポーター
・保育士・介護福祉士
・ミュージックセラピスト



清水町教育委員会教育長
山下 勇さん

「すくサポート」は、スタッフが子ども一人一人と丁寧に向き合い、寄り添いながら、子どもの考えや思いを引き出し、受け止め、楽しく安心して学び過ごせる環境・場をなっています。これからも、町専門指導員と連携・協働して子どもたちのよきサポーター、保護者のよき相談相役として指導・支援していただきますようお願いいたします。



すくしみスタッフ
秋元 絵里さん

すくサポのオンライン授業では、先生と最近あったことや好きなアニメの話などで和んでから授業を受けています。授業以外の余暇活動では、折り紙で季節の飾りを作ったり、みんなでカードゲームを楽しんだりしています。たわいないお喋りを通して「楽しかった」と感じてもらえる、安心できる場所になれるよう、これからも取り組んでまいります。

～音楽教室～

音楽イベントでは、参加者の【主体性】を引き出すことを重視しています。主体性を促すために、自分の考えを伝え、評価を受ける経験を通じて、緊張感とともに【自信】が育ってくれることを願っています。参加者の中からは「気分転換ができた」という言葉がありましたが、前向きな気持ちになれた証と受け止め、今後も、子どもたちがより積極的に自己表現できる場を目指していききたいと思います。

03

私たちの取り組み

地域ネットワークづくり

子どもの居場所・
学びネットワーク協議会『輪～む』

『輪～む』は十勝で不登校支援の活動をする16の民間団体に5つの教育委員会、市議・町議さんや現役の先生をオブザーバーに加えたネットワーク。各団体は月1・2回から週1回くらいの活動をしているケースが多いです。

不登校で悩んでいる子ども達や保護者の方に、「こんな場所もあるよ!」と伝えたい。こんな思いでスタートしました。

参画団体の毎月の活動をHPで集約して、お伝えすることや月1回の「定例会」でイベント情報を共有して各団体へ足を運んでもらっています。

お問い合わせ

心のサロンSmiley TEL 090-1385-7640 (代表:佐々木)
とかちやっど TEL 080-4024-4345 (担当:佐伯)



< TDN参加事業所 >



十勝放課後等デイサービス
ネットワーク (TDN)

すくさぽが運営する、放課後デイ「みんなの居場所ひので」は自分たちの事業所のみではなく、誠実に地域の福祉を守る他の事業所と連携を取りながら運営しています。「合同相談会」や「福祉人材開発」(人材不足解消が目的)など知恵を出し合って進めています!

04

私たちの取り組み

放課後等デイサービス事業

放課後等デイサービス
「みんなの居場所ひので」



ひのでは 5つの場所を
目指しています!

1. どんな子どもでも集える場所
2. 認めてもらえる場所
3. 「楽しい」が広がる場所
4. 少し勇気を出してみる場所
5. 出会いのある場所

みんなの居場所ひのででは放課後等デイサービスの事業所として、令和4年7月に開所しました。

小4～中3の子達対象の「ちょっと大人の放課後デイ」として、少しずつですが地域のみなさまに知って頂けるようになりました。主に中学卒業後の進路選択の際に、サポートをする事を目的とした活動をしています。「学習支援(学習の土台づくり)」「社会とつながるイベント」を柱に成長を実感できる環境づくりをしています。

スタッフ紹介



児童福祉士 吉田 亜優さん

ひのででも4年目、卒業生も多くなりました。巣立っていく子どもたちと共に、私も何か少しでも、成長できていたら嬉しいと思う今日この頃です。さらに今年度は、ひのでの存在が、少しずつ皆様に認識してもらえるようになった実感がありました。これからも生活の一助となれますよう、頑張っていきたいと思っています。



児童指導員 井上 智美さん

子育ての経験から子どもたちに何か伝えられたらと思っていましたが、毎日子どもたちの優しさや素直さに学ぶことばかりです。ひのでの皆さんと一緒に楽しく成長していけたら嬉しいです。よろしくお願いします。

お問い合わせ

TEL 050-8884-1098 MAIL hinode202207@outlook.jp
毎週火曜日～土曜日(祝日含※年末年始、GW、お盆を除く)
AM10:15～12:15(学校休業日10:00～13:00)
PM14:30～17:30(学校休業日14:00～17:00)

ひので食堂

年末恒例となったひので食堂も、第四回となりました。今回は新メンバーも加え、新体制での開催。さらに、メニューにいろいろな種類があったり、お客様アンケートがあったり…初めて尽くしとなりました。緊張した面持ちながらもレジをしっかりと管理してくれた子、お席を、水のピッチャーを持ちながらこやかに駆け回っていた子、パンケーキをとて上手く焼けた子、トッピングのすべてをこなしてくれた子…この経験を、これからの生活に活かしてくれたら、これに勝る喜びはないですね。練習ではやらなかったことが急にできて、工夫すればできることもある。これからも、みんなの好奇心と勇気で世界を上げてほしいと思います。



05 私たちの取り組み 収穫祭

今年の収穫祭の売り上げは、全額「浦幌町」への支援金へ！

例年、地域の皆さまに喜んでいただこうと、すくさぼボランティアスタッフで開催している収穫祭。今年は浦幌町などで大雨の被害がありました。久保理事の「故郷（浦幌町）を元気にしたい！」という想いに共感して、新たにすくさぼに加わって頂いた経緯もあり、何とかお力になりたいと考えました。ボランティアスタッフのみなさんもこれまで以上に力が入り、団結力が増したのでした！



十勝毎日新聞の記事より

06 私たちの取り組み 対面学習指導



すくさぼの活動はここから始まりまし！



令和7年度の高校生ボランティア登録数は、過去最高の65名！学習支援の活動なのはもちろんですが、ボランティアスタッフのみなさんは高校生～80歳台の方まで、とても幅広い年齢層から参加頂いています。私たちは子どもを囲む地域コミュニティの形として、貴重なものだと思います。小中学生と高校生が楽しそうに学習しているところを、大人たちが嬉しそうに見守る。こんな地域社会を将来の子ども達につないで行きたいですね。

07 私たちの取り組み 感謝式

保護者代表あいさつ 佐藤 宣秀さん

毎年恒例の「すくさぼ感謝式」が令和8年3月7日（土）に市民活動プラザ六中にて行われました。年々、卒業式っぽくなっていく感謝式ですが、今年は初めて保護者さまの参加も可となりました。そして今年も各学年の代表からのご挨拶もありました。とても立派にあいさつをする皆さんを見て、頼もしい気持ちになりました！



VOICE

近藤紗也加さん（北栄小学校4年）のお母さまの近藤加奈子さんより。

本人が4年生になる少し前に関西から帯広に引越して、初めて帯広で年度を終えようとしています。何も分からないまま登録し通い始めたすくさぼでしたが、高校生のお兄さんお姉さんとこんな話した！と毎回とても楽しそうに話してくれました。転校で慣れないことも沢山あり苦勞もりましたが、学校外で居心地のいい場所を提供して頂いたことに心から感謝しています。また、収穫祭では誰かのために働くことにとても充実感を感じていました。得難い経験をたくさんさせて頂き、本当にありがとうございました。来年度もまた参加できることを親子で楽しみにしています。

ゆったり・まったり 冒険プロジェクト in あしよろ

～はじめてのわくわく体験～

2026年2月28日(土)～3月1日(日)、ネイパル足寄にて1泊2日の「ゆったり・まったり 冒険プロジェクトinあしよろ」が開催されました。小学生、中学生、大学生が集まり、五感を使ったさまざまな体験を行いました。

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立日高青少年自然の家
共催：北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄
協力：NPO法人教育支援協会北海道、特定非営利活動法人地域子育てネットすくさぽ



ゆったりニコ活

まずはアイスブレイクや全体の雰囲気づくり。体を動かしてお題に挑戦したり、ビー玉を運ぶパイプラインなどで盛り上がりました。



ゆったりハピ活

翌日のメシ活に使用する食材を賭けて宝探し♪ ピザの具材増し増し券などが隠されていました。その後はスーパーに行き、自分の食べたい追加食材を買い出しに。

参加者の声



国立日高青少年自然の家
企画指導専門職
松川 誠さん

国立の施設と道立の施設と一緒に企画を行うことはほぼ無いので、貴重な機会でした。今回はバツと見て面白そう！行きたいと思えるプログラムに、また「ゆったり・まったり」がテーマだったので自由時間が多く、ゆとりのあるスケジュールを意識しました。特に熱気球を持つ施設は珍しいので、喜んで頂けたのではないのでしょうか。



NPO 法人教育支援協会北海道
専務理事
白石 友柄さん

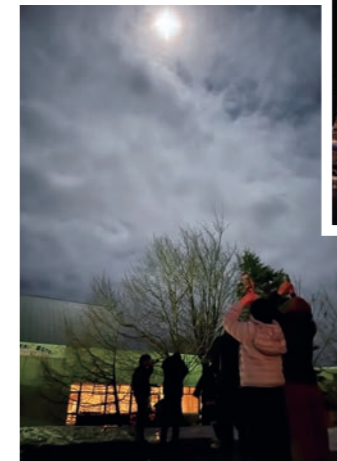
5教科は苦手でも、他のことに興味関心のある子どもはとて多いです。その子たちがやりたいと思うことができる環境を提供していきたいと思えます。色んな人と関わることで、普段見えにくい良いところが出てきます。優しい子ばかりなので、点数ではなく、達成感を味わってほしいです。

＼ 昼食・夕食はみんなでいただきます♡ ＼



たっぷりチル活

クラフト体験では空き缶ランタン、手作り望遠鏡を制作。ランタンに火を灯したり、望遠鏡で月を見たりバルーングローを楽しんだ後は、外活動での体験を形にする、スクラッチアートとレジンアートに挑戦しました。



／ 月のクレーターまで見える！



ゆったり朝活



朝早起きして熱気球に乗りました！



まったりメシ活

前日に用意した具材を使ってピザ、クレープ、マフィンを作りました。頑張った料理は格別！



大学生のインターンも頑張りました！



北海学園大学
清野 総慈朗さん

大学で教職を取っており、教育に関わる現場を体験したいと思いインターシップに参加しました。これまで生徒側の立場だったので、初めて指導側に立つ経験をしました。年の離れた子ども、障がいを抱える子どもたちとの関わり方がわからなかったため、よい機会に恵まれました。



参加者
藤森 斗希(とき)さん・お母さん

人と関わるのが好きな子なので、今回さまざまな年代の子がいるのが良かったと思います。レクリエーションでは物怖じせず質問や課題解決のための発言をするなど、良いところをたくさん見つけられました。また機会があれば参加したいと思います。

理念

—

学びの根っこをみんなで育てる

- 全ての子が学べる環境を創ります。
- 全ての子が安心できる環境を創ります。
- 地域資源を活かし多様な学びの機会を創ります。

私たちはこれらを柱に、子どもの学びを中心にした
コミュニティづくりを進めてまいります。



SUKUSAPO

詳細は
こちらから



〒080-0811 北海道帯広市東11条南9丁目1番地 市民活動プラザ六中 3F

TEL 050-8884-1098 FAX 050-8884-1099